

名 称	妙高子縁活動支援センター
所 在 地	〒944-8186 新潟県妙高市栄町5-1
連 絡 先	TEL : 0255-72-5111(代)                      FAX : 0255-72-3902

## 地域の現況・特色

活動対象地域の人口    妙高市    37,675人（平成19年12月末日現在）

妙高市は、新潟県の南西部に位置する。平成17年4月1日、日本百名山の一つ「妙高山」のすそ野に広がる新井市、妙高高原町、妙高村が合併し、「妙高市」が誕生した。

妙高山麓一帯は上信越高原国立公園に属し、四季折々の変化に富んだ雄大な自然の景観や、湧出量豊富な温泉、多くのスキー場などを有する観光地である。そして、豊富な水と肥沃な大地で生産される安全・安心な米、野菜などを使った料理は、この地を訪れた方に好評を博している。

また、当市では、雪国で培った譲り合う心・助け合う心などの「豊かな心」を継承し、広める「妙高市民の心」の運動に取り組んでいる。この運動を通じ、家庭・学校・地域が連携して、社会全体で子どもたちを育てる活気のあるまちづくりを目指している。

## 事業の名称、活動概要

### 名称 子縁活動人材制度

「子どもたちと大人の縁」をつなぐことを目的に、様々な知恵と技術を身につけた地域の指導者を人材バンクに登録し、学校や地域コミュニティ・子ども会の要望に応じて指導者を派遣する制度である。子どもたちは本物の技術を間近で体験でき、指導者にとっては生涯学習で身につけた成果を発揮する場となっている。

この活動を通じて、子どもたちと地域のつながりが深まり、社会全体で子どもを育む意識が高まることを期待している。

## 事業の実施に至る背景、連携・協働のねらい

背景としては、社会全体で子どもたちを育む意識を高めるために、家庭・学校・地域が

連携・協働した取組みを実施する必要があった。また、地域の教育力の向上を図るため、子どもたちに対しては多様な教育機会を提供し、大人たちには学んだ成果を地域社会に還元する場の提供が必要であった。

そこで、地域と学校、行政の代表者が検討を重ねた結果、平成13年に、地域の指導者を学校や地域コミュニティ・子ども会に派遣し、子どもたちを指導する子縁活動人材制度が提案された。翌年には、学校と地域の連携を図るため、市民・学校・行政から成る「学び共創推進委員会」が組織された。

この制度のねらいは、社会教育関係団体などに所属し活動する地域の大人が子どもたちの教育活動を支援することで、地域住民が子育てに参画するきっかけとなり、地域の教育力向上を図ることにある。

子縁活動人材制度の実施を通じて、子どもたちの「生きる力」の育成を進めてきている。

## 事業の内容

### ① 事前準備として行った取組（企画段階）

事業を始めるに当たっては、まず指導者が必要であった。生涯学習活動を行っている社会教育関係団体の中には、活動の一環としてその学習成果を子どもたちへ還元したいと希望する団体もあったことから、最初に社会教育関係団体に制度説明を行い、登録を呼び掛けた。また、学校を通じて行った保護者への制度説明や市広報を利用した登録の呼び掛けにより、登録を希望する指導者が集まった。

市では、応募のあった指導者による人材バンクを整備し、各学校を結ぶLAN上に掲載し、各学校が利用できる制度を構築した。

併せて、地域への制度周知のため、市広報紙による情報発信を図ったほか、パンフレットを各町内会へ配布した。また、地域づくり協議会や民生・児童委員協議会の総会などの機会を利用してパンフレットを配布し、制度の利用と新たな指導者の募集を行った。

### ② 活動の展開内容（活動段階）

教育委員会は、学校や地域コミュニティ等からの申込みがあったときは、活動内容を確認し、登録されている指導者の中から適任者を選定し派遣する。なお、人材バンクに登録されている指導者の中に適任者がいない場合は、社会教育関係団体等の関連団体に呼び掛けて、人材バンクへの新規登録と申込みがあった活動への支援を依頼している。

### 【学校や地域コミュニティでの活動】

- ① 教育委員会は、学校や地域からの申請を受付ける。
  - ② 要望に沿う指導者を人材バンクから選定し、指導者に連絡し、協議する。
  - ③ 指導者から承諾後、申請者へ指導者を紹介する。
  - ④ 申請者と指導者で事前に活動内容について打合せを行う。
  - ⑤ 活動終了後、実施報告書を教育委員会に提出する。
  - ⑥ 実施報告書に基づき、教育委員会から指導者へ報償費を支給する。
- 活動内容は、文化・芸能、スポーツ、趣味、歴史、各種体験指導など、多岐にわたる。

### 【地域子どもクラブ】

平成14年度の学校週5日制の導入に伴い制度化した。子どもたちが有意義な休日を過ごせるように学習活動を支援している。

- ① 年度初めに、学校を通じて参加者を募集する。
- ② 社会教育関係団体が行っている活動に、毎月2回、子どもたちも一緒に参加する。
- ③ 市から報償費を指導者（団体）へ支給する。
- ④ 現在は、囲碁、将棋、茶道、箏の4つのクラブがある。



囲碁クラブ



将棋クラブ



茶道クラブ



箏クラブ

### ③ 連携・協働に当たってのポイント・留意点

指導者の派遣に当たっては、できるだけその地域の指導者を選定している。その理由は、子縁活動人材制度は、地域の大人と子どもの交流のきっかけづくりを行うことにより、新しい学びの輪が広がっていくことを期待しているからである。

指導者は、ボランティアとしてこの活動に参加しているが、報償費として市から1回当たり1,300円を支払っている。また、指導者が安心して活動できるように、傷害保険に加入し、活動中の万一の事故に備えている。

### 事業の成果と今後の課題

成果として、平成18年度末においては、人材バンクには604人の市民の皆さんから登録をいただいております、延べ889人の指導者を派遣し、延べ9,964人の子どもたちが指導を受けた。

これにより指導者は、これまでに培った知識や技能を地域に還元することができた。また、地域住民と子どもとのつながりが深まり、地域社会全体で子どもの教育に取り組む活動が進められた。

今後の課題としては、現在は学校関係が中心に制度を利用していることから、地域コミュニティ等における制度利用が増えるように、制度周知を図っていく必要がある。

また、多様な指導者派遣要請にも対応できるように、様々な分野の地域の指導者を募り、人材バンクを充実していく必要がある。

執筆者職・氏名：妙高市教育委員会 生涯学習課 主事 寺島 武司

コーディネーターからの一言コメント

地域住民の子育て参画によって地域の教育力向上を図ることをねらい、人材バンク登録者を学校や子ども会に派遣している。その母体が市民・学校・行政による組織の推進委員会だが、更なる活動の広まりを期待したい。

(中根 惇子)